

V220a **ヴァーチャル天文台による ALMA データ配信システムの開発および利用
状況の報告**

江口智士，白崎裕治，川崎渉，小宮悠，大石雅寿，水本好彦，小杉城治，小林剛志 (国立天文台)

国立天文台ヴァーチャル天文台 (JVO) プロジェクトでは、同 ALMA-J グループと共同で、ALMA データをヴァーチャル天文台 (VO) 形式で配信する仕事を行っている。2012 年度の秋にプロトタイプとして世界に公開したのを皮切りに、利用者の利便性を向上させる様々な改良を施し、2013 年度夏より世界初の「ALMA データ配信用 VO サービス」として正式運用を開始した。その結果、JVO ポータルサイトへのアクセス数、利用登録申請数、ALMA データのダウンロード数のいずれもが着実に増加している。そのいっぽうで、利用者の利便性を向上させる開発作業も並行して行っており、2014 年度には JVO ポータルサイトの大幅リニューアルを行う予定である。本リニューアルではユーザ・アクションを大幅に整理することを目的としており、ポータルのトップ画面は大幅にシンプルになる予定である。加えて、データ検索ページでは、これまでは検索条件の入力項目をタブ形式で表示していたために、必須項目をも飛び越して検索実行を行えるような表示になっていたが、これをウィザード形式に改めることで、必須項目が未入力の場合には先へ進めないようになる。また、登録ユーザに対しては、前回ログオフ時のステータスが次回ログイン時に引き継がれるようになるため、全 VO サービスに一斉検索をかけるといった時間の掛かる作業を始めた状態でログアウトし、検索が終了する頃を見計らって再度ログインして続きから作業を再開することが可能になる予定である。

本講演では、ALMA データ配信サービスの開発状況および利用者数等の利用統計の遷移について報告するとともに、2014 年度に行われるポータルサイトのリニューアル計画の紹介を行う。